



**VISION &  
STRATEGY**

第84期  
事業報告書

平成12年4月1日～平成13年3月31日

 **センコー株式会社**

〒531-6115 大阪市北区大淀中一丁目1番30号 TEL. (06) 6440-5155 (代表)

URL <http://www.senko.co.jp/>

**SENKO**

# 流通情報企業へ



代表取締役社長 小池 洋

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、第84期事業報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当期の日本経済は、情報技術(IT)関連を牽引役とした民間の設備投資の増加等により、自立的な景気回復に向けた緩やかな動きが見られましたものの、下半期に入り米国経済の減速傾向に加え、株式市況の低迷が続く中、個人消費にも回復の兆しは見られず、景気は低迷の域を脱しない状況で推移いたしました。

物流業界におきましても、貨物輸送量が伸び悩む一方、一般市況における低価格化の進行に伴うお客さまからの物流費低減要請が一段と激しさを増すなど、厳しい経営環境が続きました。

このような環境にあって、当グループはお客さまのニーズに的確に対応できる高品質・高付加価値の物流サービスの提供に努めてまいりました。また、インターネット受注代行システムやトラックの運行状況を衛星で管理するGPS等の技術を活用した新ロジスティクス・システム(ベストパートナーシステム)の開発、導入をはじめとする物流システムのさらなる高度化や新規需要の開拓を積極的に推進する一方、ローコスト化への取り組みを着実に推し進めてまいりました。

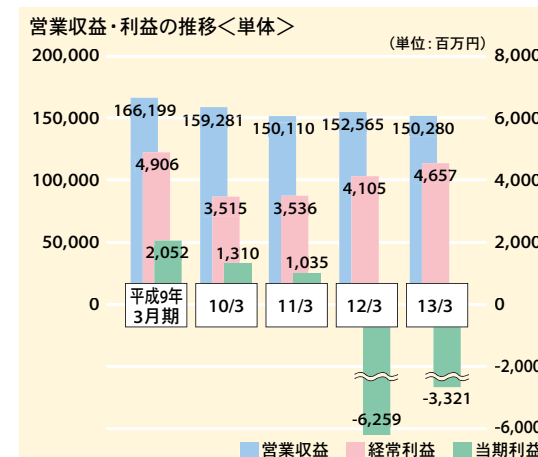
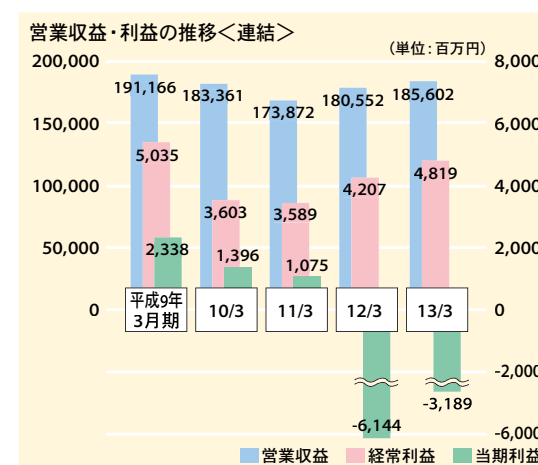
この結果、連結決算につきましては、営業収益は、1,856億2百万円と対前期比2.8%増、経常利益は、前期において営業外費用として計上しておりました有価証券評価損の減少等により、48億19百万円と対前期比14.5%増となりました。しかしながら、当期純損益につきましては、31億89百万円の損失となりました。これは、年金財政の健全化を図るため、退職年金制度の規約の一部を変更したことにより過去勤務債務減少益32億42百万円等を特別利益に、

また財務体質の健全化と次期以降の期間損益を改善するため、退職給付会計基準の適用による積み立て不足額の一括償却を行い、退職給付会計基準変更時差異103億91百万円及び退職給付信託設定損8億51百万円等を特別損失に計上したことによるものです。なお、これにより退職給付に係る積み立て不足額については、全額処理を完了いたしました。

単体決算につきましては、営業収益は、1,502億80百万円と対前期比1.5%減、経常利益は、46億57百万円と対前期比13.4%増、当期純損益につきましては、33億21百万円の損失となりました。なお、利益配当金につきましては、1株につき3円75銭とさせていただきます、中間配当金と合わせて年間配当金は、前期同様、年7円50銭とさせていただきます。

今後も景気の先行きは依然予断を許さず、国内貨物輸送量の増加が期待できない一方、お客さまは、高品質で効率的な物流システムの提案や包括的な物流業務委託によるコストダウンを期待されており、物流企業が果たすべき役割は今後ますます重要となってきております。このような状況のもと、当グループは、平成13年度より中期経営三ヵ年計画をスタートさせております。この中期経営計画の基本戦略は「総合物流企業」から「流通情報企業」への転換にあります。具体的には、第一に、調達先から最終消費者に至るサプライチェーン全般の物流業務の受託に努め、特に消費者物流に注力しながら、お客さまにコスト低減とより高いサービスの提供を図ります。第二に、IT時代や高齢化社会、環境問題に対応した、21世紀に成長が期待できる新事業領域への参入を図ります。これらの事業展開を推進するにあたり、当社では、ベストパートナーシステムを武器に、真の最適化となる流通システムの創造、提供を進めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

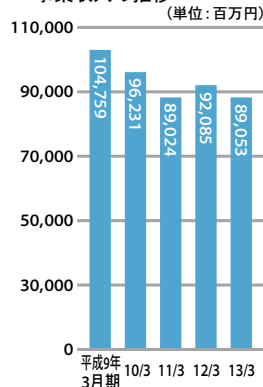


## 貨物自動車運送事業

貨物自動車運送事業の当期の事業収入は、890億53百万円(対前期比3.3%減)で、事業収入構成比は48.0%となりました。これは、特に上半期における住宅関連需要の減少による住宅輸送分野での輸送量減少に加え、素材関連貨物の減少があったことによるものです。

当グループの貨物自動車運送事業は、全国にきめ細かなネットワークを展開しており、貸切輸送から積み合わせ輸送、ルート輸送、共同輸送など、お客様の商品・物流形態に合わせた輸送・配送サービスを提供しています。輸送貨物は産業用原料から工業製品、建設・住宅資材、農産物、一般消費財、引越し荷物まで、衣・食・住すべてにかかわるものを扱っています。また車両も各種専用車・特殊車を用意するなど、フレキシブルな輸送体制が、メーカーをはじめとする多くのお客さまから高く評価されています。

●「貨物自動車運送事業」  
事業収入の推移



# SENKO

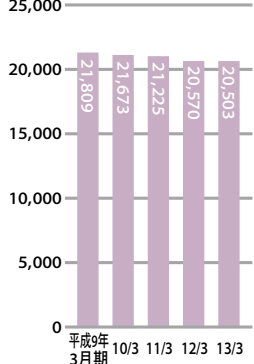
## 倉庫業

倉庫業の当期の事業収入は、205億3百万円(対前期比0.3%減)で、事業収入構成比は11.1%となりました。これは、一般消費財関連貨物を中心とする既存貨物の荷動き低迷があったことによるものです。

当グループの倉庫拠点は、従来の倉庫のイメージを一新した物流施設で、倉庫の持つ保管機能、配送機能、商品のセット組み、値札つけなどの流通加工や高度情報機能を組み合わせたサービスを提供する複合機能型の物流センターです。

現在、全国主要拠点に165棟を設置し、総保管面積は約67万㎡に達します。これら倉庫拠点を中心に、多様化するお客様のニーズを先取りしたシステムを使って物流と情報を一体化させ、お客様の生産と販売を支援する各種物流サービスを提供しています。

●「倉庫業」  
事業収入の推移

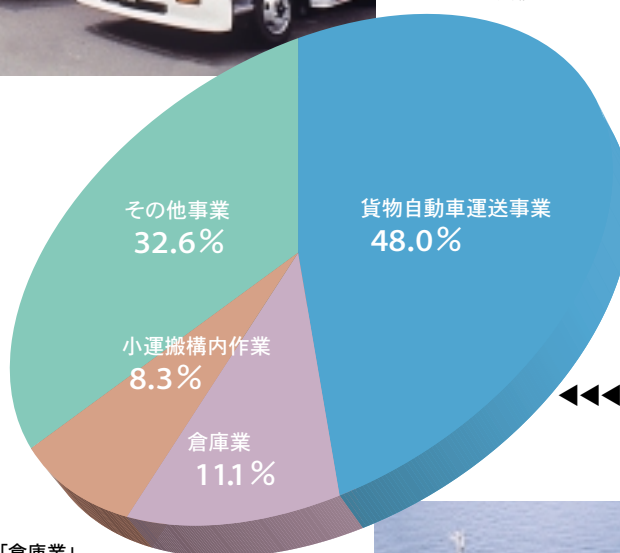
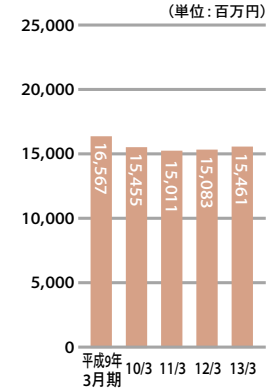


## 小運搬構内作業

小運搬構内作業の当期の事業収入は、154億61百万円(対前期比2.5%増)で、事業収入構成比は8.3%となりました。これは、工場内作業の新規開拓に努めたことによるものです。

小運搬構内作業とは、お客様の工場や倉庫などで、原材料のトラック積み卸しから製品の包装・梱包、積み込みといった物流作業から製造過程での各種作業を行うもので、物流のプロとしての確かな仕事で、工場内の物流管理を支えています。

●「小運搬構内作業」  
事業収入の推移



部門別事業収入比率  
(平成13年3月期)

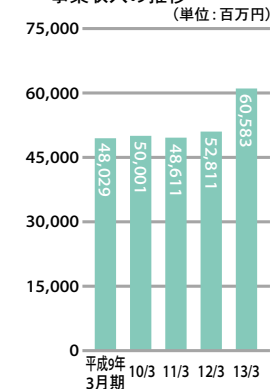


## その他事業

その他事業の当期の事業収入は、605億83百万円(対前期比14.7%増)で、事業収入構成比は32.6%となりました。これは新規のお客さまの獲得等による石油類販売事業の拡大並びに量販店・小売物流関連業務の新規拡販による業務増加等によるものです。

当グループのその他事業には、鉄道利用運送、コンテナ船や専用船による海上運送、顧客専用倉庫やスペース貸し倉庫の不動産賃貸、フレイト・フォワードとして国際間の複合一貫輸送を行う国際物流、石油販売、商事販売、情報処理・ソフトウェア開発、総合リース業、自動車整備などが含まれています。

●「その他事業」  
事業収入の推移



# NEW STRATEGY

## ITネットワーク時代の「流通情報企業」をめざして



グループ全体の経営革新と成長をはかり、利益を重視した経営を推進するために、平成13年度から三ヵ年の中期経営計画をスタートさせました。この計画の核となるのが、総合物流企業から「流通情報企業」への転換です。

統合型ロジスティクス（サプライチェーン・ロジスティクス）の構築はもとより、ITを駆使したロジスティクス・システムの開発や、需要予測、棚割分析といった新たな流通機能の開発にも取り組み、新領域へも積極的に挑戦していきます。

新世紀のセンコーは、生産から消費までいたるサプライチェーン全体の運営管理をすべてまかされ、お客さまに高い付加価値を提供する流通情報企業へ変革します。

「流通情報企業」とは…  
企業や消費者に最大の価値を提供するために、生産から消費までサプライチェーン全体の効率化をめざす企業。流通全般に関する情報をリアルタイムで収集・分析し、ITを駆使したロジスティクス・システムと統合することで、最適な流通ソリューション（通信とコンピューターを活用し、問題解決をはかる）を実現します。

# O F S E N K O

### 量販店・小売物流

チェーンストア業界のニーズである「メーカーとの直接取引」ができるシステムを開発、提供し、ホームセンター、ドラッグストアなどのシェア拡大を図るとともに、大手総合スーパー、外資系小売企業、コンビニ、ネット通販などの新市場へも事業拡大を図ります。

### サプライチェーン・ロジスティクス

住宅物流では、部材メーカーから住宅メーカー工場への輸送引き受けや、工場を経由せずに直接施工現場へ納入される部材の保管、配送の拡大、石油化学・樹脂物流では、お客さまの物流関連業務の全面アウトソーシング受託など、既存物流についてもサプライチェーン全般に事業領域を拡大していきます。

### 医療介護用品ロジスティクス

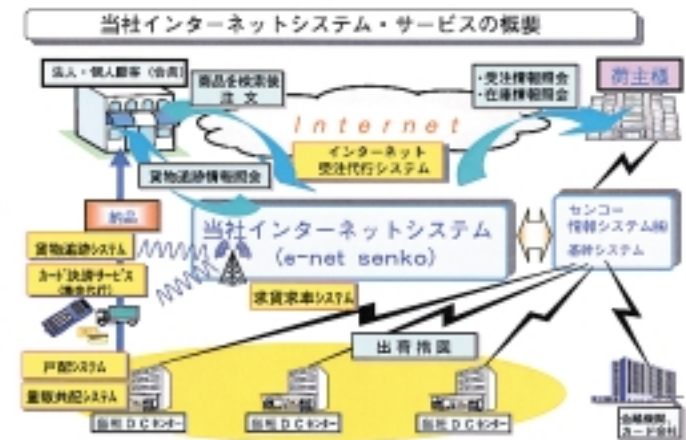
高齢化社会が進展するなか、急速な成長が見込まれる医療・福祉分野。当社は、介護用品のデリバリーからユーザー先での商品組み立て、回収商品の洗浄、パーツ交換などを一貫して引き受ける医療介護用品支援システムを、介護保険法施行に合わせた昨年4月から全国6拠点でスタートしており、今後も拡大展開を図ります。

### リバースロジスティクス

大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会から循環型社会、環境負荷の少ない社会への転換が指向され、リサイクルへの取り組みが本格化しています。当社では、量販店・小売物流向けの返品アソートシステム、住宅物流向けの建設廃棄物収集や運搬、さらに電化製品リサイクルシステムなどを展開。リバースロジスティクス事業として返品・回収物流分野にも積極的に取り組んでいきます。

### e-net senko

当社では、多彩なお客さま企業のeビジネスにベストフィットし、企業間取引から物流までのすべてをサポートするトータルシステムサービスとして「e-net senko」を昨年10月から稼働しています。その基盤となるのが法人や個人顧客（会員）などからの受注を代行する「インターネット受注代行システム」。また、物流センター業務や配送業務においては、インターネットを使ったリアルタイムでの在庫情報、貨物追跡情報の提供をはじめ、車両動態管理システムや、貨物情報と輸送車両（空車）情報をベストマッチする「インターネット求貨求車システム」とも連動。さらに、与信管理から決済まで行うEC基盤サービス（カード決済サービス）なども提供しています。



### 環境対策への取り組み

当社では、環境保全を経営の重要テーマと位置づけ、「環境対策マスタープラン」を策定し、環境対策へグループをあげて取り組んでいます。活動の柱は、①低公害車・低NOx規制適合車導入などによる車両低公害化、②エコドライブ活動や省エネルギーなどによる省資源活動、③事業活動から発生する廃棄物ゼロ（ゼロ・エミッション事業）を目指す廃棄・リサイクル活動、④「リバースロジスティクス」など環境に配慮した物流システム提供、⑤環境マネジメントシステムの構築と「ISO14000 認証」の取得推進、⑥グリーン購入の推進、⑦環境会計の導入などトータルな活動を展開していきます。

# DATA OF 2000

## 連結

### 連結貸借対照表

(平成13年3月31日現在)

■単位:百万円

資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b> .....	<b>52,531</b>	<b>流動負債</b> .....	<b>43,861</b>
現金及び預金	17,869	支払手形及び営業未払金	19,781
受取手形及び営業未収入金	25,397	短期借入金	13,240
その他	9,328	その他	10,838
貸倒引当金	△63		
<b>固定資産</b> .....	<b>99,342</b>	<b>固定負債</b> .....	<b>67,441</b>
有形固定資産	79,384	社債	20,000
建物及び構築物	30,765	転換社債	13,881
機械装置及び運搬具	5,307	長期借入金	12,258
土地	34,474	退職給付引当金	17,421
その他	8,837	その他	3,879
無形固定資産	917		
投資その他の資産	19,041	<b>負債合計</b> .....	<b>111,302</b>
投資有価証券	1,541		
繰延税金資産	9,563	<b>資本の部</b>	
その他	8,214	資本金	18,295
貸倒引当金	△278	資本準備金	17,001
		連結剰余金	5,274
		自己株式	△0
		<b>資本合計</b> .....	<b>40,571</b>
<b>資産合計</b> .....	<b>151,874</b>	負債、少数株主持分及び資本合計	151,874

### 連結損益及び剰余金結算書

(平成12年4月1日から平成13年3月31日まで)

■単位:百万円

営業収益	185,602
営業費用	180,093
<b>営業利益</b> .....	<b>5,508</b>
営業外収益	847
営業外費用	1,536
<b>経常利益</b> .....	<b>4,819</b>
特別利益	3,783
特別損失	13,375
<b>税金等調整前当期純損失</b> .....	<b>4,772</b>
法人税、住民税及び事業税	2,540
法人税等調整額	△4,122
少数株主損益	△1
<b>当期純損失</b> .....	<b>3,189</b>
連結剰余金期首残高	9,466
連結剰余金増加高	24
連結剰余金減少高	1,027
<b>連結剰余金期末残高</b> .....	<b>5,274</b>

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(平成12年4月1日から平成13年3月31日まで)

■単位:百万円

営業活動によるキャッシュ・フロー	9,876
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,720
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,327
現金及び現金同等物に係る換算差額	4
現金及び現金同等物の減少額	△168
現金及び現金同等物の期末残高	17,869

## 単体

### 貸借対照表

(平成13年3月31日現在)

■単位:百万円

資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b> .....	<b>41,385</b>	<b>流動負債</b> .....	<b>28,322</b>
現金・預金	16,038	支払手形	1,190
受取手形	2,217	営業未払金	7,879
営業未収入金	17,022	短期借入金	10,574
繰延税金資産	697	その他の流動負債	8,678
その他の流動資産	5,469		
貸倒引当金	△60		
<b>固定資産</b> .....	<b>89,790</b>	<b>固定負債</b> .....	<b>62,233</b>
有形固定資産	68,231	社債	20,000
建物	26,684	転換社債	13,881
船舶	1,032	長期借入金	7,580
車輛運搬具	1,615	その他の固定負債	20,771
土地	33,778		
その他の有形固定資産	5,121	<b>負債合計</b> .....	<b>90,555</b>
無形固定資産	779		
投資等	20,778	<b>資本の部</b>	
投資有価証券	1,225	資本金	18,295
繰延税金資産	9,094	法定準備金	18,464
その他の投資	10,621	剰余金	3,860
貸倒引当金	△162	(うち当期損失)	(3,321)
<b>資産合計</b> .....	<b>131,176</b>	<b>資本合計</b> .....	<b>40,621</b>
		負債及び資本合計	131,176

### 損益計算書

(平成12年4月1日から平成13年3月31日まで)

■単位:百万円

営業収益	150,280
営業費用	145,124
<b>営業利益</b> .....	<b>5,155</b>
営業外収益	964
営業外費用	1,461
<b>経常利益</b> .....	<b>4,657</b>
特別利益	3,472
特別損失	13,519
<b>税引前当期損失</b> .....	<b>5,389</b>
法人税、住民税及び事業税	2,314
法人税等調整額	△4,383
<b>当期損失</b> .....	<b>3,321</b>
前期繰越利益	949
中間配当額	428
利益準備金積立額	42
<b>当期末処理損失</b> .....	<b>2,842</b>

### 利益処分

■単位:百万円

当期末処理損失	2,842
固定資産圧縮積立金取崩額	2
特別償却積立金取崩額	27
別途積立金取崩額	4,250
合計	1,438
これを次のとおり処分します。	
利益準備金	43
利益配当金	428
(1株につき3円75銭)	
次期繰越利益	966

# DATA OF SENKO

## [会社概要] (平成13年3月31日現在)

### 会社の概要

商号	センコー株式会社
資本金	18,295,643,751円
創業	大正5年9月
設立	昭和21年7月
事業所	209ヶ所
従業員	4,061名
貨物自動車	1,965輛
所有船舶	7隻
倉庫	669,529㎡

### 役員

代表取締役会長	馬場 英次
代表取締役社長	小池 洋
代表取締役副社長	田中秋夫
常務取締役	首藤 富士雄
常務取締役	福田 泰久
常務取締役	賀木 勲
常務取締役	清宮 保之
取締役	稲山 清紀
取締役	池田 宜郎
取締役	和田 定晋
取締役	柘植 道義
取締役	伊藤 忠雄
取締役	佐賀 和夫
取締役	後藤 和男
常勤監査役	林 正浩
常勤監査役	高橋 三郎
常勤監査役	浅野 英雄
監査役	殿村 英幸

### 子会社

センコー商事(株)
センコーリース(株)
(株)センコー保険サービス
センコー情報システム(株)
関西センコー整備(株)
(株)センコー引越プラザ
札幌センコー運輸(株)
東北センコー運輸(株)
関東センコー運輸整備(株)
東京センコー運輸(株)
千葉センコー運輸整備(株)
富士センコー運輸(株)
東海センコー運輸(株)
滋賀センコー運輸整備(株)
大阪センコー運輸(株)
岡山センコー運輸(株)
三協貨物(株)
山陽センコー運輸(株)
(株)四国冷凍運輸倉庫
福岡センコー運輸(株)
熊本センコー運輸(株)
宮崎センコー運輸整備(株)
埼玉センコーアポロ整備(株)
大東センコーアポロ(株)
北陸センコーアポロ(株)
宮崎センコーアポロ(株)
中日本資材(株)
センコーフーズ(株)
(株)クレフィール湖東
広州扇興物流有限公司

### 主要な事業所

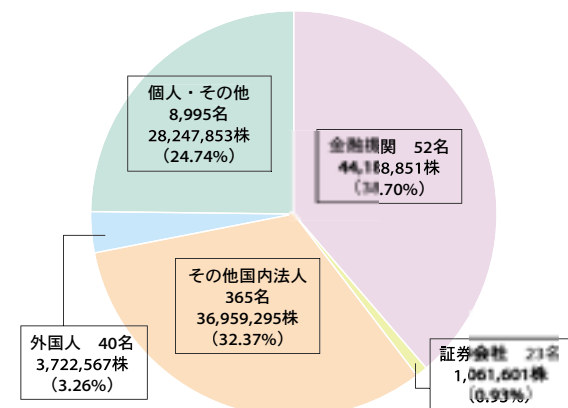
- 本社  
大阪市北区大淀中一丁目1番30号
- 関東事業本部  
東京都港区浜松町一丁目26番1号
- 中部事業本部  
名古屋市西区牛島町5番2号
- 関西事業本部  
大阪市北区大淀中一丁目1番30号
- 九州事業本部  
福岡市東区箱崎ふ頭五丁目1番40号
- 部支店  
札幌、仙台、茨城、北関東、埼玉、柏、東京、神奈川、千葉、静岡東、静岡西、名古屋、三重、北陸、京滋、奈良、大阪、岡山、山口、福岡、熊本、延岡、国際物流、海運

## [株式情報] (平成13年3月31日現在)

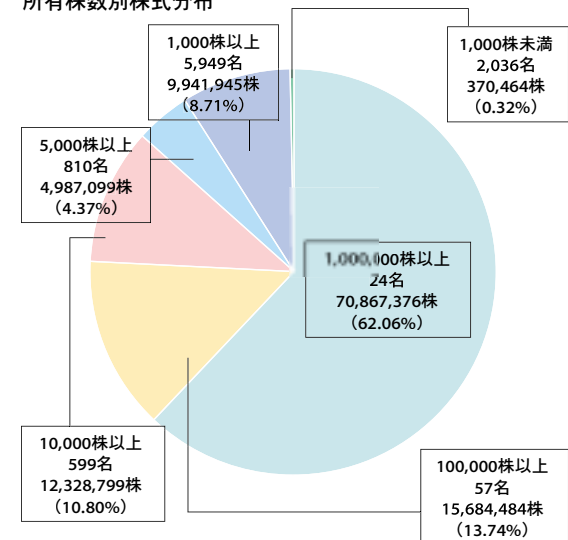
### 株式の状況

発行済株式総数	114,180,167株
株主総数	9,475名

#### 所有者別株式分布



#### 所有株数別株式分布



#### 大株主（上位10位）

株主名	所有株式数(株)	所有比率(%)
旭化成株式会社	10,676,726	9.35%
積水化学工業株式会社	6,785,900	5.94%
三菱信託銀行株式会社	5,360,000	4.69%
株式会社東海銀行	5,300,516	4.64%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	4,809,000	4.21%
センコーグループ従業員持株会	3,901,743	3.42%
東京海上火災保険株式会社	3,239,170	2.84%
千代田生命保険相互会社	3,200,000	2.80%
同和火災海上保険株式会社	3,169,655	2.78%
株式会社三和銀行	3,059,230	2.68%

#### 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月中
配当金受領株主確定日	3月31日(利益配当金) 9月30日(中間配当金)
名義書換代理人	三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区永田町二丁目11番1号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
電話照会先	三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話(03)5391-1900(代表)
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞